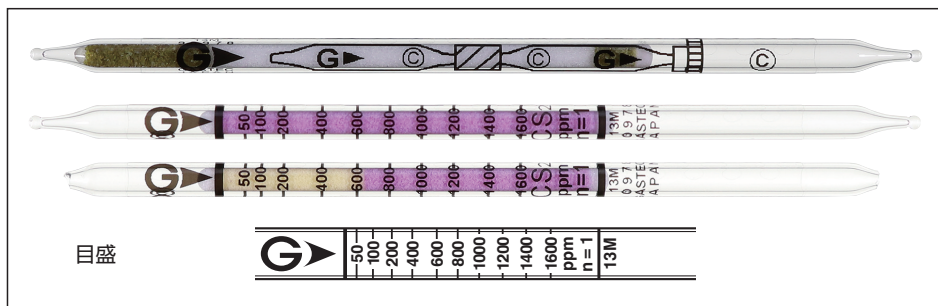


二硫化炭素 CS₂

No.13M

Carbon disulfide



仕様

測定範囲	15 ~ 50 ppm	50 ~ 1600 ppm	1600 ~ 5120 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	0.30	1	3.2
測定所要時間	3分	1.5分	45秒

検知限度： 10 ppm (2回吸引)

変色： 紫色 → 黄色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 36 か月

変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

二硫化炭素は二酸化イオウに酸化され、塩化バリウムと反応して塩化水素を生成し、指示薬は黄色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
低級炭化水素	1000ppm以上	+	黄色に変色
二酸化イオウ		+	黄色に変色
硫化水素, 硫化カルボニル		+	黄色に変色

酸化剤：二硫化炭素を酸化し、1000ppm以下の低級炭化水素を除去する。

校正用ガス

ガス拡散管法